

鈴木 ひでき

市政レポート

2015.04 No.10

発行:鈴木 ひでき 後援会

<連絡先>〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL0563-55-1167 FAX0563-55-1909



木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今後6か年の基本施策となる、第6次総合計画後期基本計画の初年度で重要な年です。「将来も岡崎に住んで良かった」と思われるように努めます。

3月定例会が、3月2日から3月25日にて行われ、平成27年度当初予算を含む62議案が審議され、賛成多数にて可決されました。

今後の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げますと共に、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



安全な通学路、地域の活性化、渋滞緩和などに向け道路整備がされました

2月15日、都市計画道路矢作桜井線の牧内跨線橋。3月15日には、国道473号バイパスが開通しました。渋滞緩和や通学路の安全が確保されます。また、物流面では円滑化が図られ地域の活性化に繋がる事を期待するものです。道路整備地域にお住まいの方々におかれましては、長年に渡ってのご理解とご協力に感謝申し上げます。

名称	都市計画道路矢作桜井線 牧内跨線橋	国道473号バイパスと市道原下衣文線
位置と全景	<p>矢作川、国道1号、岡崎公園前、矢作橋、東海道本線、矢作桜井線、岡崎、岡崎公園前、矢作川、矢作橋、岡崎公園前、矢作川、矢作橋、岡崎公園前</p>	<p>国道1号から473号へ、全景、国道1号、473号、上式衣文線、大橋町、上式衣文線、大橋町</p>
事業延長	900m (うち橋梁延長218.2m)	4.3km (3.6km〔バイパス区間〕+0.7km〔アクセス道路〕)
事業年度	H22年度～H26年度(都市計画決定は、S47)	H19年度～H26年度
総事業費	約32億6000万円	約143億円(今回開通区間のみ)
特徴	① 水平力分散支承の考えに基づき、橋脚にかかる慣性力を分配する、高い耐震性 ② 伸縮装置による、快適な走行性の確保 ③ 保護性さびで鋼材表面をコーティングした、優れた防食性	
課題	① 国道1号線への右左折渋滞 ② 岡崎刈谷線南側住宅街の通学路安全確保	① 地域の活性化 ② 交通量増加に対する通学路安全確保

平成27年3月定例会報告

平成27年3月定例会は、62議案（平成26年度分：15議案、平成27年度分：47議案）の審議を行い、最終本議会において賛成の立場を表明し、いずれも可決されました。

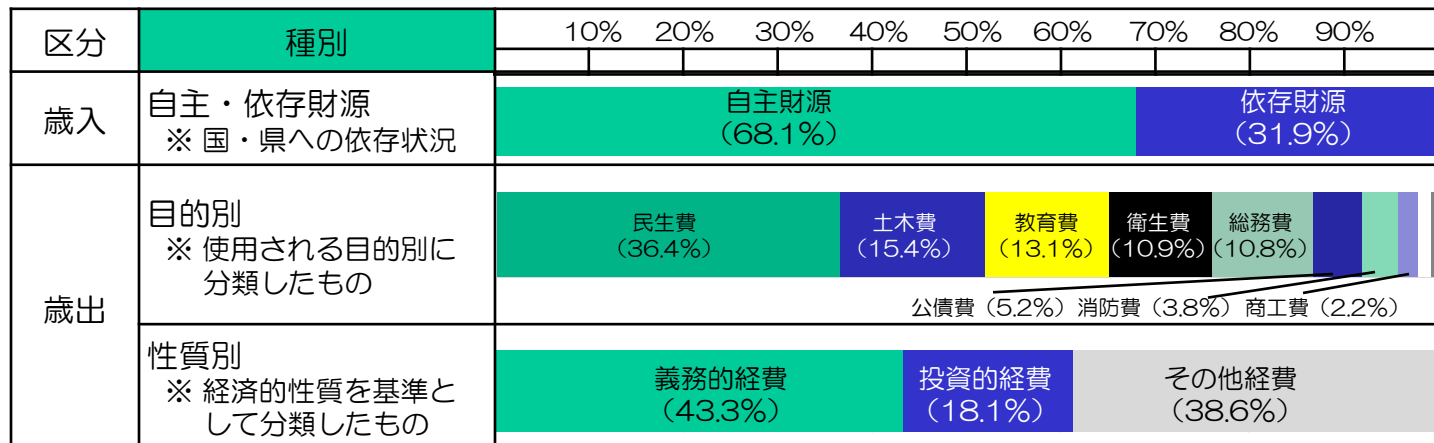
平成27年度当初予算の概要

経済状況は、緩やかな回復基調が続いていることから、一般会計・特別会計は共に増額となり、会計全体で前年度対比4.5%増となります。また、今年は「徳川家康公顕彰四百年」、翌年は「市制施行100周年」と歴史的に大きな筋目を迎える機会として、平成27年度予算は「歴史と自然を活かし魅力あるまちを創る予算」と名付け執行されました。

会計別	27年度予算額(A)	26年度予算額(B)	差引(A)－(B)	前年度対比
一般会計	1,212億6,000万円	1,122億6,000万円	90億0,000万円	108.0%
特別会計	663億6,896万円	608億4,202万円	55億2,694万円	109.1%
企業会計	552億1,781万円	592億3,013万円	▲40億1,232万円	93.2%
合計	2,428億4,677万円	2,323億3,215万円	105億1,462万円	104.5%

◆一般会計(1,212億6,000万円)から見た財政運用の健全性の確認

財政について、あらゆる角度から確認し持続的なまちづくりができるように努めています。



自主財源比率は、地方自治体の行政行動の自由度や安定度を図る尺度。目的別は、取り組み事業のバランス。義務的経費は、人口構造変化により影響するため財政構造の弾力性などに注視する。

◆第6次総合計画後期基本計画における重点プロジェクトの予算総額

プロジェクト名 (総額事業費)	期待される効果	主な事業名 (事業費)
歴史観光 (16億1,856万円)	賑いのある活気に満ち溢れたまち	乙川リバーフロント地区整備推進 (14億1,611万円) 矢作川水辺環境整備 (1億1,189万円)
安全安心 (75億2,707万円)	災害に強い、地域医療が充実したまち	男川浄水場更新 (35億4,821万円) 市民病院の救急棟建設 (12億5,095万円)
こども育成 (31億9,275万円)	子育て支援、学校教育が充実したまち	東部学校給食センター建設 (22億2,622万円) 公立保育園の建て替え (6億6,320万円)
都市再生 (33億2,390万円)	都心、生活拠点を中心としたコンパクトなまち	岡崎環状線整備 (8億9,927万円) 岡崎駅南土地地区画整理事業費補助 (5億6,032万円)
行政刷新 (1億8,150万円)	持続可能な行政運営	額田支所整備 (1億7,539万円) 都市シンクタンク (611万円)

6年後の姿を決める、大変重要な位置づけです。人口構造の変化や人口減少などの対応課題も考慮し、将来にわたり持続的なまちづくりが進められるように取り組みます。

◆主な重点事項と歳出(目的別)費目

防犯対策支援(民生費)

◇生活安心推進業務 [予算額 3,089万円]

- ・全ての小学校にて防犯ブザーの配布(予算1,111万円)
- ・夜間犯罪防止パトロールの巡回時間の継続

H27年度 巡回計画	
実施日数	200日/年
実施時間	11時間/日 (PM 5~AM4)
人員	4人(2班体制)



H26年度は、不審者等発生状況が前年対比で24件減少



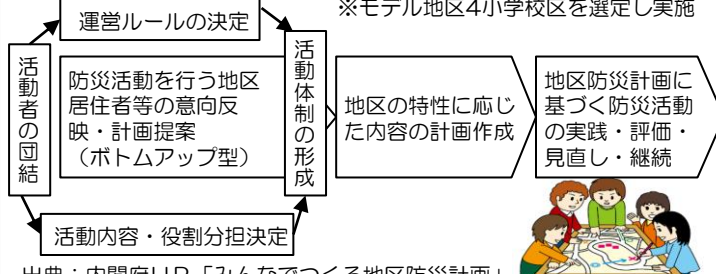
安全安心なまちづくりの推進を図る

防災・減災対策支援(消費費)

◇地区防災計画策定支援業務 [予算額 103万円]

- ・地区の特性に合った防災計画の策定支援

※モデル地区4小学校区を選定し実施



出典：内閣府HP「みんなでつくる地区防災計画」

防災・減災に向けたまちづくりの推進を図る

子ども・子育て支援(民生費)

◇放課後対策施設整備業務 [予算額 3,654万円]

項目	対象施設
施設整備実施設計	豊富学区こどもの家 児童育成センター
児童育成センター整備	井田, 大樹寺, 六ツ美西部
造形図書室の拡大	竜美丘学区こどもの家



◇認可外保育施設補助業務 [予算額 1,161万円]

	健康診断補助金	施設運営費補助金
対象	市内在住者で、1ヵ月以上入所する児童保護者	認可外保育施設指導監督基準適合証明書の交付受取
補助	1,000円⇒2,000円に増額	保健衛生費、人件費など

子どもが健やかに育むまちづくりの推進を図る

高齢者支援(民生費)

◇認知症地域支援事業 [予算額 633万円]

支援項目	内容
認知症カフェ運営費補助金	情報交換を目的とした支援拠点。2H/回、4回/年、上限2万円
認知症地域支援推進員等設置事業	本人および家族の相談業務
岡崎おかえりメール	見守り協力者にメール発信

◇配食サービス業務 [予算額 4,618万円]

- 65歳以上のひとり暮らし高齢者又はその世帯
- ・要介護認定を受けている者等
- ・75歳以上の高齢者のみの世帯の者
- 65歳以上の日中独居高齢者(非課税世帯等)



地域にて高齢者を見守るまちづくりの推進を図る

環境対策支援(衛生費)

◇新エネルギーシステム設置等補助業務 [予算額 1億490万円]

<補助対象>

区分	対象設備	補助金額	対象者	補助予定数
拡充	住宅用太陽光発電設備	2万円/1kw	個人	900件
	家庭用燃料電池設備	7万円/基	個人	120基
新規	HEMS(家庭用エネルギー管理システム)	2万円/基	個人	150基
	定置用リチウムイオン蓄電池	8万円/基	個人	100基
	FCV(燃料電池自動車)	30万円/台	個人, 事業者	5台
	プラグインハイブリット車	10万円/台	個人, 事業者	120台

低炭素社会に向けたまちづくりの推進を図る

商工業活性化支援(商工費)

◇農林産物ブランド化・6次産業化支援業務 [予算額 301万円]

- ・事業期間：H27~H29年度
- ・補助率：事業費の1/2以内(限度額50万円)
- ・補助内容：戦力的な農産物加工品の開発等及び販路開拓に係る取り組み支援
- 支援対象：市内の農家又は農家を含む団体



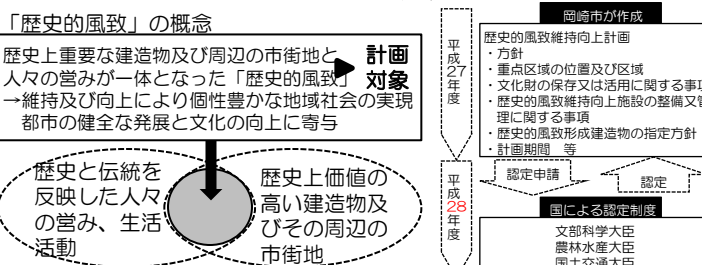
○農家の気づき援助 →対象農家等掘り起こし 背景として ・6次産業化地産地消法設立 ・6次産業化ネットワーク交付金 ・「強い農業」△国の施策	○援助をきっかけとした動き →異業種との交流 →IT(HP)の利用 →付加価値産品生産 →首都圏・海外等 販路拡大 →パリュチェーンの構築 →地域農産物ブランド化 →トップブランド作成 →農家等のレベルアップ	○地域農産物ブランド化 →農家等の発信力の向上による、地元農産物ブランド化の創造 →ブラッシュアップされた加工品等が地域などで販売されることにより、地元農産物のブランドが増す。 →岡崎を売り出すアイテムの創出
---	--	---

農林業が活性化するまちづくりの推進を図る

歴史まちづくり推進(土木費)

◇歴史的風致維持向上計画策定業務 [予算額 710万円]

歴史文化資産を活用した施策や事業を、国の支援を得て計画的に進めるため、歴史まちづくり法に基づき「歴史的風致維持向上計画」を策定する

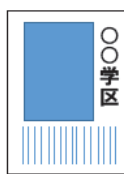


歴史・伝統を継承するまちづくりの推進を図る

地域支援(総務費)

◇学区記念誌作成業務 [予算額 1,874万円]

- 【事業概要】
- 大正5年の市制施行以来、多くの合併をする中で発展を遂げました。この歴史的背景も踏まえ、地域への愛着や誇りを高めるきっかけとして全小学校区ごとに総代会を中心として「地域の自慢」を1冊にまとめ次代に引き継ぐ取り組みです。



- 掲載内容(案)
- 学区概要(学区の概略・年表など)
- 魅力(景観・名所旧跡・産業・伝統など)
- 位置(地図上での魅力を紹介)
- 行事など学区の特徴(お祭り・行事など)

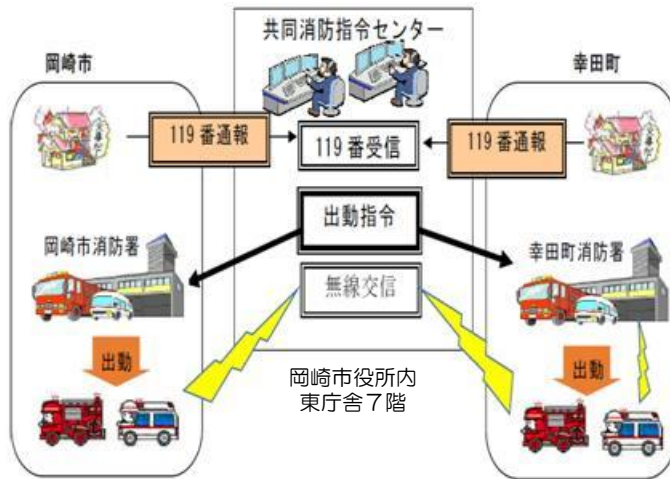
地域への愛着や誇りを高めるまちづくりの推進を図る

防犯・防災などをはじめ、地域で安心して暮らせる取り組み。また、先人より受け継いだ文化や歴史的財産などを、次世代の人たちに継承する取り組みについては評価するものであります。

岡崎市と幸田町における消防司令業務の共同運営について

国・県により消防無線の広域化・共同化が行われます。そこで、両市の消防費抑制と、大規模災害時等に相互応援協定に基づく応援出動体制の迅速化を図るために取り組まれます。

◇共同運用のイメージ



通常時の出動区域は、従来通り（各市町区域内）

効果

- ① 消防施設整備費 7,800万円の経費削減。
(両市単独：10億9,500万円、共同：10億1,700万円の差)
- ② 消防運用費の経費削減。
(運用費を、両市の人口比や財政需要額比で按分負担)
- ③ 配置人員の効率化による消防体制の強化。
(岡崎市は、3人をセンター要員から現場の補強要員)
- ④ 覚知段階から相互に災害内容を共有し、早期に応援出動体制が整えられる。

導入日程

- ・ H27年度：基本事項に関する確認書の調印
愛知県へ規約案の提出
両市町による法定上の協議
- ・ H28年度：指令システム実施設計
- ・ H29年度：指令システム整備
- ・ H30年度：4月1日より共同運用開始

【活動記録】（1月1日～3月31日）主な活動の一部を記載します。



■1月1日 岡崎市新年交礼会に出席する。
(今年も岡崎ジャズで始まる)



■1月7日 全トヨタ労連・ユタカ議連協新年交礼会に出席する。



■1月11日 消防出初式に出席する。



■1月15日 松風園にて「春の生活向上の取り組み研修会」にて、議員の関わりと取り組み説明をする。



■2月3日 中部歴史まちづくりサミットに出席する。



■2月12日 連合愛知三河中地協「2015全国一斉労働相談ダイヤル」のPR街頭活動に参加する。



■2月15日 地域交流センター六ツ美分館(悠紀の里)開館式に出席する



■2月27日 岡崎市立南中学校「卒業を祝う会」に来賓として出席する。



■3月7日 岡崎げんき館で開催された「救急医療を知ろう」に出席する。



■3月8日 地域防災訓練に出席する。



■3月15日 国道473号バイパスと市道原下衣文線の開通式に出席する。



■3月18日 市民公開講座第104回 分子科学フォーラム「総力と本気で地震を克服する」に出席する。

VIAの相談

地域での困りごと、市政に対するご意見・ご相談等お気軽に「鈴木 ひでき 暮らしの相談室」をご利用ください。

皆様の、お役にたてるように頑張ります。

ホームページのドメインは、

http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/

「鈴木 ひでき」検索でも見れます！！

みなさん、是非とも、ホームページをご覧ください！！

